

# アンケート結果及び部会等で出されたご意見と抽出した課題について

## 1 アンケート結果及び部会等で出されたご意見

### ① 中部北陸地域の認知度、広報に関するご意見

- ・ “中部エリア” の認知度がまだ低く、中華圏の人にはどこか分からない。
- ・ ロゴをデザインした共通の土産品を開発し、販売できるようにして欲しい。日本国内での昇龍道の認知度向上にもつながる。
- ・ トップセールスが一番有効。観光振興に如何に首長を巻き込むかに勝算がかかっている。
- ・ インバウンドにとっては、本プロジェクトが追い風となる。昇龍道として自分の観光資源だけでなく、近隣の観光資源も一緒にPRしたい。また、市民にも浸透させて、市民が外国人に向けて「昇龍道」をPRできたらいい。
- ・ 昇龍道は、自分の地域だけ売り込むのではなく、エリア・面で捉えたときに何が出来るかを検討することで、中部北陸地域が団結して観光プロモーションを行うきっかけとなれば良い。
- ・ ショッピング、伝統的風景、産業観光はよい観光資源。「外国人の目」で見て魅力的かどうかを考えないといけない。例えば犬山や高山は伝統的で魅力、周辺の観光施設や祭りなどのイベントと併せてプロモーションするのがよい。
- ・ ゴールデンルート（東京ー大阪）に対して、昇龍道ルート（基本となるモデルルート）の策定が必要。
- ・ ものづくり産業についても、工場見学なども魅力。
- ・ 昇龍道プロジェクトの中に産業観光の要素を取り入れて頂きたい。
- ・ 以前から宿泊施設が個別に台湾にPRを行っていた。1施設での部屋提供では、需要と供給のバランスが保てないため、地域全体でインバウンドに積極的な施設からなる組織を組み、地域全体で受入を担ったらどうか。（1施設で部屋を確保できないときは、類似施設を紹介する等）
- ・ 食事については、多彩なメニュー構成が必要。中国人のニーズとしては、さっと食事を済ませてショッピングをする。最近では健康食品もブーム。
- ・ エリアとしての魅力や資源を共有して情報発信することが必要。国内や地域の盛り上がりが必要。
- ・ 「昇龍道」ガイドブックを制作してはどうか。

### ② 施設や交通機関の利用、受入環境に関するご意見

- ・ 訪日観光客が安心して滞在出来るためには、各公共交通の駅の多言語表記、車内の多言語アナウンスが必要不可欠。各種施設においても同様。
- ・ 宿泊施設、レストラン、ショッピングの際に、通訳（スピーカー）がいると助かる。
- ・ レストランやショッピングでの、多言語表記があると良い。
- ・ 観光地を紹介する場合は、その歴史・文化・建築等を詳しく説明する言語対応したパンフレットが必要。
- ・ 宿泊施設での台湾テレビが視聴できると良い。
- ・ ショッピングについては、お土産品として人に頼まれた物を買っていくケースは多い。ただ、店員の説明が十分でないと、買いたい物を購入できない、という不満が出てくる。
- ・ セントレアから市内への無料バス（個人、団体）が必要。昇龍道での一つの成功パターンを作った方が良い。（具体的なツアーを作成し、販売）
- ・ 個人（FIT）客が利用できるワンデーパスやフリーパスが欲しい。

- ・様々な交通機関と連携した商品を作成。
- ・個人旅行者のため、新幹線等の鉄道車両に、ラゲッジスペースを設けて欲しい。
- ・観光客の受け入れを表明している施設の共通のおもてなしマニュアル（マナーや食事メニュー）の検討。
- ・ホームページの多言語化整備を充実させて欲しい。
- ・wi-fi等の無料アクセスポイントの充実をして欲しい。

### ③ 相互の情報共有に関するご意見

- ・他県のことがよくわかるよう、担当者が連携できる会議を開催。旅雑誌などのメディアも巻き込んで、国内やエリアでの認知度を向上させる。

### ④ その他

- ・部会の人数が多すぎて、活発な意見交換ができない。数を絞るとか、事前に議第を連絡し、意見を集約してから部会を行うとか、何か工夫が必要。
- ・会議自体の招集がどこからどこに投げかけをされたのかわからない。行政含めて中部9県の足並みをそろえる為にも、情報発信箇所の統一をお願い致します。



## 2 抽出した課題

- ① 中部・北陸地域の認知度が低いため、認知度向上に対し効果的な取り組みが必要
- ② 交通機関や宿泊施設、観光施設などにおいて、多くは案内等が日本で語表示、放送等されており、内容が理解できないので、多言語化(繁体表示・簡体表示)の拡充が必要
- ③ 買い物などの支払をスムーズにするため、商業施設等で銀聯カードが利用できるようにすることが必要
- ④ 中国はネッがよく普及しているので、宿泊施設など広範な場所でWi-Fiが利用できる環境整備が必要
- ⑤ 富裕層や一度ゴールデンルートなどを訪れた観光客を中部・北陸地域にリピーターとして来てもらうことが必要
- ⑥ 情報発信ツールとして各団体等のHPやブロッガー、ツイッター、SNSといったWebを活用した広報が必要
- ⑦ 複数の交通機関が安価で利用できるような共通パス、企画切符といった工夫が必要
- ⑧ 個人旅行者がレンタカー等で移動しやすいように、レンタカーに中国語対応のナビを装着したり、料金面での優遇などの工夫が必要
- ⑨ 地域で売っていくための取り組み方法や他の主体と連携などをしていくには、各主体での取り組みなどの情報発信と共有が必要